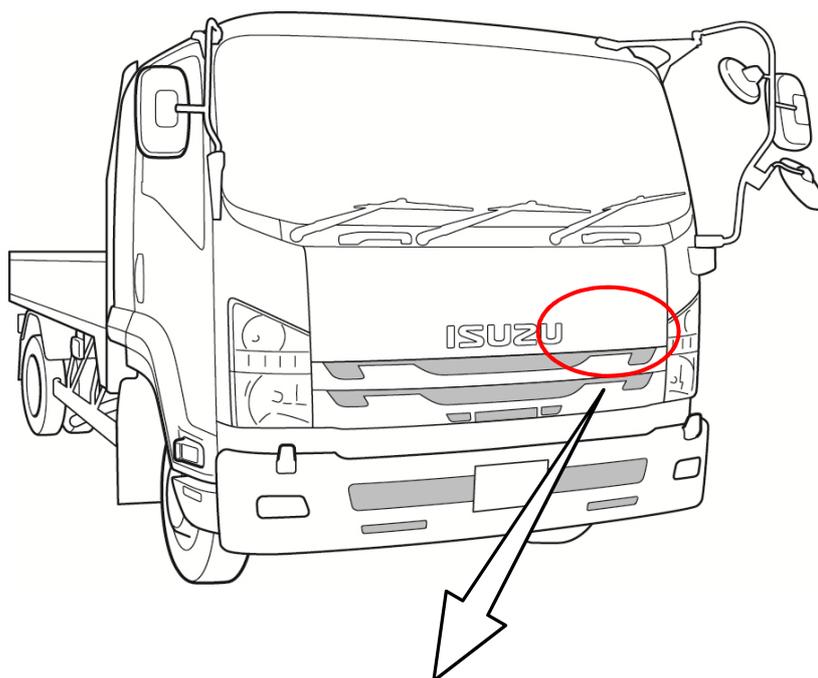
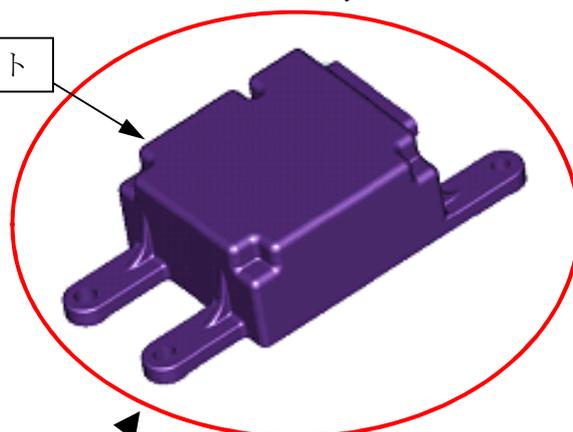


改善箇所説明図



SRSコントロールユニット



不具合発生箇所

小型・中型トラックのSRSコントロールユニットにおいて、エンジン始動時の故障診断の制御が不適切なため、イグニッションをオンにした際の電気ノイズと加速度センサの出力信号が共振することがある。そのため、SRSコントロールユニットが共振した信号を加速度センサの故障と判断して警告灯が点灯し、衝突時にエアバッグが展開せず、乗員保護性能が損なわれるおそれがある。

改善の内容： 全車両、SRSコントロールユニットを対策品に交換する。

識別：運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に緑色シールを貼付する。

注： は措置する部品を示す。